

輸送動向について（1月分）

平成25年2月

1. 輸送概況

今月は、首都圏及び新潟・秋田地区の大雪による輸送障害等により、月全体で高速貨136本、専貨6本が運休となった。

荷動きについては、前年、東日本大震災に伴う一部メーカーの生産減があったものの、海外の景気減速を受けて輸出を中心に生産の減少があり、月全体では前年をわずかに下回った。

コンテナ貨物は、紙・パルプ、エコ関連物資等が前年を上回ったものの、化学薬品、自動車部品等が前年を下回り、全体では前年比99.4%となった。紙・パルプは震災により被災した生産拠点の復旧、また、エコ関連物資は災害廃棄物の広域処理の進展によりそれぞれ増送となった。一方、化学薬品は一部顧客の輸送中止等により大きく減送となった。また、自動車部品は国内需要の減少により減送となった。

車扱貨物は、一部区間での輸送終了に伴いより減送となった石油をはじめ、全ての品目で前年を下回り、全体では前年比90.9%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,494	1,503	99.4%	17,001	16,095	105.6%
車 扱	1,022	1,125	90.9%	7,733	8,087	95.6%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	144	146	-2	98.6%
	化学工業品	137	143	-6	95.8%
	化学薬品	108	120	-12	90.0%
	食料工業品	188	186	2	101.1%
	紙・パルプ	249	236	13	105.5%
	他工業品	124	130	-6	95.4%
	積合せ貨物	146	143	3	102.1%
	自動車部品	72	78	-6	92.3%
	家電・情報機器	32	33	-1	97.0%
	エコ関連物資	39	29	10	134.5%
	その他の	255	259	-4	98.5%
コンテナ計	1,494	1,503	-9	99.4%	
車 扱	石油	717	802	-85	89.4%
	セメント・石灰石	128	133	-6	95.8%
	車 両	97	107	-10	90.8%
	その他の	80	83	-3	96.8%
	車 扱 計	1,022	1,125	-103	90.9%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）